



千里ニュータウンの価値と魅力を共有するための活動 ～「千里グッズの会」による地域情報共有メディアの制作等による住まれた歴史の継承～

千里ニュータウン住民、町づくり専門家、大阪大学の教員・学生が中心になって、2002年7月千里ニュータウンのお土産・グッズをつくる目的で「千里グッズの会」が発足した。「魅力ある街には魅力的な絵はがきがある」という意見・コンセプトから、千里の美しい風景や歴史、千里の研究を元に絵葉書を制作し販売する「千里の絵葉書プロジェクト」を開始した。さらに2011年より豊中市の協働事業で新しい活動を始めた。それが「ディスカバー千里」である。「ディスカバー千里」では千里にお住まいの方に、あるいは、千里を訪れる方に、千里ニュータウンの魅力を「発見」してもらえるよう、生活情報や歴史を収集・編集・発信する活動を通して、住民にとっては「当たり前」のものとして経験されてきた暮らしが、次の世代へと継承する価値がある歴史になるという意識を住民と共有し、今後のまちづくりに活かしていくことを目的にしている。以下、プロジェクトを紹介する。

■千里の絵葉書プロジェクト

2003年3月より、ひがしまち街角広場で絵葉書の販売を開始した（1枚50円）。最初の6か月で1000枚以上を販売している。2008年からは、ブログ「ニュータウンスケッチ」において製版した絵葉書の全見本を掲載し、撮影年や撮影場所などの情報を提供している。

Web:<http://senri.xii.jp/newtown-sketch/goods/postcards>

■ディスカバー千里プロジェクト

Web:<http://discover-senri.jimdo.com>

□暮らしの歴史アーカイブ事業（図1）

イベントやホームページにより街にまつわる思い出をお聞きすることを通して、みんなで千里ニュータウンの歴史を振り返る機会をもうけるためのプロジェクト。

□ウェルカムパック（上から2段目・左1枚目）

一年に3千世帯が豊中市エリアの千里ニュータウンに引っ越ししている。その方たちを対象に千里文化センター内の豊中市出張所に手続きを行いに来たときに職員から新住民にクリアファイルに入れた生活情報を手渡ししてもらっている。

■その他実施活動

□千里ニュータウンウォーク・ガイド「千里ニュータウン計画」の思想を巡る（図2）

□「大きな本」プロジェクト（図3、上から段目・左4枚目）

ニュータウンの歴史を「大きな本」に詰め込んで、さまざまな場所で展示し、歴史などを共有していこうとするプロジェクト。場所に相応しい「大きな本」を展示し、町歩きしながら千里ニュータウンのことを学習する機会を提供している。

□千里まち歩きガイドツアー

□イベント企画・協力



千里ニュータウンへのアクセス
千里ニュータウン計画の思想
南千里コース・マップ
南千里コース・みどころ
北千里コース・マップ
北千里コース・みどころ
千里中央コース・マップ
千里中央コース・みどころ ※各見開き

図2 千里ニュータウンウォーク・ガイドと目次



絵葉書の紹介



ディスカバー千里



思い出募集中



図1 暮らしのアーカイブ事業ホームページ



図3 「大きな本」の一例